

## シンポジウム

# 「かがやけ横浜子どもプラン」

～横浜市次世代育成支援行動計画って何？～

すべての子育て家庭が、子どもの成長段階に合わせて必要な支援を受けられる「まち」、また、家庭の大切さを認識するとともに子育ての喜びを地域全体で共有できる「まち」よこはまを市民と行政が協働で実現することを目標に、横浜市では「かがやけ横浜子どもプラン」(次世代育成支援行動計画)を策定しました。プランの実現のために何が 필요한のか、パネルディスカッションを通じて考えていきたいと思ひます。

当日の取材を  
お待ちしております

2005年7月5日(火) 先着1,000人 入場無料

開場12:30/開会13:30/終了15:30

会場/新都市ホール (横浜駅東口 横浜新都市ビル・そごう9階)

### ■基調講演 「ヒトはなぜ子育てに悩むのか」

まさたか のぶお

**正高 信男** 京都大学霊長類研究所教授

著書「ケータイをもったサル」、「父親力」、「子どもはことばをからだで覚える」他多数

### ■パネルディスカッション 「横浜の次世代育成」

パネリスト **高橋 勝**

(横浜国立大学教授)

(次世代計画検討委員会委員長)

**奥山 千鶴子**

(NPO法人びーのびーの代表)

(次世代計画検討委員会委員)

**前田 正子**

(横浜市副市長)

コーディネーター **大豆生田 啓友**

(関東学院大学専任講師)

基調講演講師、パネリスト、コーディネーターのプロフィールが裏面にあります。

○問い合わせ先 横浜市子育て支援事業本部地域子育て支援課

電話 045-671-4157 FAX 045-663-1925 Eメール fu-koshien@city.yokohama.jp

## 基調講演

**正高 信男**（まさたかのぶお）京都大学霊長類研究所教授

大阪大学大学院人間科学研究科博士課程修了。学術博士。アメリカ国立衛生研究所客員研究員。ドイツ・マックスプランク精神医学研究所研究員などを経て現職。専攻、比較行動学。最近の著書『ケータイを持ったサル』はあまりにも有名。『二人目の母親になっている日本の男たち』『親になる技術』『ヒトはなぜ子育てに悩むのか』『育児と日本人』『子どもはことばをからだで覚える』『父親力』など著書多数。

## パネルディスカッション パネリスト

**高橋 勝**（たかはし まさる）横浜国立大学教授

2000年から2004年まで横浜国立大学附属横浜小学校長を併任。専門は、人間形成論、教育人間学。文部科学省道徳教育教材研究会委員、神奈川県義務教育研究協議会専門部会長などを歴任。横浜市次世代育成支援行動計画検討委員会委員長をつとめる。著書に、『文化変容のなかの子ども』（東信堂）、『学校のパラダイム転換』、『子どもの自己形成空間』（以上、川島書店）など。

**奥山 千鶴子**（おくやま ちづこ）特定非営利活動法人びーのびーの代表

会議の企画運営会社でコーディネーターとして働きながら結婚・出産。長男が1歳10ヶ月の時に退職。港北保健所の子育て通信づくりに携わりながら仲間づくりを開始。地域に開かれた子育ての「ひろば」を商店街空き店舗を活用し立ち上げる。現在、10歳、8歳、5歳の3人の子の母。横浜市次世代育成支援行動計画検討委員会委員。著書に、『子育て支援NPO 親たちが立ち上げた おやこの広場びーのびーの』（ミネルヴァ書房）。

**前田 正子**（まえだ まさこ）横浜市副市長

早稲田大学教育学部卒業、松下政経塾研究員などを経て、生後半年の息子連れ、米国ノースウエスタン大学ケロッグ経営大学院に留学のため家族と渡米。そこで米国の保育事情を体験、帰国後自らも働く母親の立場から保育制度や育児支援策などの研究に従事。慶應義塾大学大学院商学研究科後期博士課程終了。商学博士。現在横浜市副市長。著書に、『保育園は、いま』、『子育ては、いま』（共に岩波書店）など。

## パネルディスカッション コーディネーター

**大豆生田 啓友**（おおまめうだ ひろとも）関東学院大学専任講師

青山学院大学大学院文学研究科教育学専攻修了後、青山学院幼稚園教諭等を経て現職。専門は幼児教育学・保育学、子育て支援。臨床発達心理士。子どもと保育総合研究所研究員。日本保育学会理事。神奈川県幼児教育協議会委員（2005年3月まで）。10歳、4歳、1歳の子どもの父親。劇団パパびーの団員。著書には『いま、幼稚園を選ぶ』（赤ちゃんとママ社）、『保育方法・指導法の研究』（ミネルヴァ書房）など。